




審査結果報告書

平成 30年 1 月 15日

主 査 氏 名 北里 英郎 

副 査 氏 名 恩田 貴志 

副 査 氏 名 神谷 和彦 

副 査 氏 名 石川 均 

1. 申請者氏名 : 大谷伸一郎

2. 論文テーマ : プロスタグランディン関連緑内障点眼薬の長期使用患者における眼表面常在細菌叢の特徴

3. 論文審査結果 :

申請者は、標記題目に関して、博士学位審査の発表を行った。本研究は、プロスタグランジン関連緑内障点眼薬である2剤（キサラタン、トラバタンズ）を比較し、常在細菌の分布、耐性化について比較検討した。その結果、キサラタンに含有される防腐剤が、常在菌である *Staphylococcus epidermidis* のメチシリン耐性化 (methicillin-resistant *S. epidermidis*:MRSE)を誘導する危険性が論理的に考察された。MRSE の多剤耐性遺伝子は、より病原性の高いMRSAを増加させる危険性もあり、緑内障点眼薬の長期使用に警鐘を鳴らす優れた研究として高く評価された。このことは、申請者の本研究が *Investigative Ophthalmology & Visual Science* という当該分野のトップジャーナルに掲載されていることから裏付けられる。

申請者は、副査、主査からの質疑応答に的確に対応し、本研究に関して高い知識、洞察力を持ち合わせていることが確認された。

以上のことと、提出された学術主・副論文の内容から、申請者である大谷 伸一郎先生の研究が、博士学位に相応しいと全員一致で判断した。